

6ヵ月(180日)以上貯留保管した 新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始のお知らせ

医療機関各位

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は日本赤十字社の血液事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本赤十字社では、輸血用血液製剤の安全対策の強化の一環として、平成16年1月から新鮮凍結血漿「日赤」の貯留保管を実施しております。当初の保管期間は2ヵ月(60日)以上でしたが、段階的に保管期間を延長し、平成17年10月までに6ヵ月(180日)以上の貯留保管を開始することを目指して準備を進めてまいりました。

この度、医療機関並びに献血者の皆様のご協力により、当初の予定を早め、平成17年7月29日供給分から、全国で6ヵ月(180日)以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」をお届けできることになりましたので下記のとおりお知らせいたします。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 対象製剤：新鮮凍結血漿「日赤」
2. 供給開始日：平成17年7月29日
3. お問い合わせ：最寄りの赤十字血液センター医薬情報担当者へお願いいたします。

<新鮮凍結血漿「日赤」の貯留保管の意義>

日本赤十字社では、より安全性の高い輸血用血液製剤をお届けするため、採血時の問診や献血血液の核酸増幅検査(NAT)を含めた感染症関連検査等を行っています。しかし、これらの対策によっても感染リスクを完全に排除することはできません。

新鮮凍結血漿「日赤」を一定期間保管した後に医療機関に供給することにより、貯留保管中に得られる献血後情報や遡及調査等で判明した感染リスクの高い血液を除外することが可能となります。

